

プロジェクトマネジメント学会四国支部総会・年次研究大会開催報告

久米洋介
株式会社 STNet

Report of the Symposium 2019 Shikoku Branch of the Society of Project Management

Yosuke Kume
STNet, Incorporated

1. 四国支部総会・年次研究大会の報告

プロジェクトマネジメント学会四国支部では、2019年2月18日（月）、株式会社 DynaxT において四国支部総会を開催し、2018年度事業報告・決算報告および、2019年度事業計画・予算案を審議し、承認されました。



四国支部総会の様子

四国支部総会に引き続き、年次研究大会を開催いたしました。

四国支部年次研究大会

日時：2019年2月18日（木）

場所：株式会社 DynaxT

共催：香川大学創造工学部、香川大学産学連携・知的財産センター技術交流協力会

後援：特定非営利活動法人 IT コーディネーター協会

年次研究大会には、香川大学創造工学部教授の山中 隆史氏をお招きし、基調講演をいただきました。

山中氏による基調講演のほか、会員から3件の研究発表がありました。

年次研究大会終了後は懇親会が開かれ、ここでも活発な意見交換をすることができました。

基調講演：

「対話を促すための大学でのロジカル思考演習の取り組みとその効果」

山中 隆史氏（香川大学創造工学部 教授）

山中氏は、大企業及びベンチャー企業で幅広く実務を経験された後、ビジネススクールの教員としてコミュニケーションや問題解決に関する教育に従事されてきました。基調講演では、対話のデザインを行うことは、会議やプレゼンにおいても重要となりますが、活発な対話や説得力のあるコミュニケーションを行うにあたってのヒントをロジカル思考及び非言語的な観点からお話いただきました。



山中氏による基調講演

発表1：

「Utility 3.0 の世の中～2050 に備えるビジネス企画～」

藤原亮彦氏（中央コンピューター株式会社）

2050年に向けてエネルギー産業をはじめとする公共性のある事業が変わっていくという展望があります。そんな来るべき世界で、我々IT事業者にはどのようなサービスが求められるかについて発表していただきました。



藤原氏による発表



三宅氏による発表

発表 2 :

「システム運用・保守における開発体制・環境整備のための海外ラボ活用について」
永松 悟郎氏（株式会社 STNet）

ラボ契約と呼ばれる一定期間の業務量を決めて委託する形態のオフショア開発（以降、海外ラボ）の広がりを受け、運用・保守部門で海外ラボを活用して自部門の体制強化に取り組んだ事例を発表していただきました。



永松氏による発表

発表 3 :

「巧妙化するサイバー攻撃への対応- 経営者に提案するための情報セキュリティ担当者必携ツール -」
三宅 宏季氏（株式会社 STNet）

自社のセキュリティ対策の現状や非常に広範であるサイバー攻撃に対して今後どこから対策を実施すべきかなどを、情報セキュリティ担当者から経営者へ報告する手段についての検討結果を発表していただきました。

2. 今年度の活動予定

本年度も、香川大学創造工学部、香川大学産学連携・知的財産センター、ITC 団体（ITC 四国、ITC かがわ）や香川県情報サービス産業協議会などの団体や他学会との交流を一層深め、幅広い方に研究会への参加を呼び掛け、新規会員の開拓に努めたいと考えています。

また、PM の基礎的な手法の研修に加えて、四国地域の活性化につながる実践的な取り組みを紹介することで、活動を一層活性化していきたいと考えています。

活動日程（予定）

2月18日：総会および年次研究大会
（株式会社 DynaxT）

6月、10月：四国支部研究会

その他：本部主催の春季、秋季研究発表大会への参加

3. お礼

最後になりましたが、年次研究大会の運営に関し、本部の方々には、多大なご支援をいただきました。厚くお礼申し上げます。

【四国支部問合せ先】

香川大学 創造工学部

荒川研究室内 PM 学会四国支部事務局

〒760-8521 香川県高松市幸町 1-1

Email:shikoku_ml@spm-hq.jp

HP:https://www.spm-hq.jp/committee/shikoku/